

2019年（令和元年度）
財務専門官 専門試験の出題例

【憲法】

基本的人権の限界に関するア～オの記述のうち、妥当なもののみをすべて挙げているのはどれか。

- ア. 未決拘留により刑事収容施設に拘禁されている者の新聞紙、図書館等の閲読の自由についても、一定の制限を加えられることはやむを得ないが、このような制限が認められるためには、刑事収容施設内の規律及び秩序が害される一般的、抽象的なおそれが存在することをもって足りるとするのが判例である。
- イ. 国家公務員法において禁止されている公務員の政治的行為は、公務員の職務遂行の政治的中立性を損なうおそれが、観念的なものにとどまらず、現実的に起こり得るものとして実質的に認められるものを指しており、こうしたおそれが実質的に認められるか否かは、当該公務員の地位、職務の内容や権限等、当該公務員がした行為の性質、態様、目的、内容等の諸般の事情を総合して判断するのが相当であるとするのが判例である。
- ウ. 憲法の人権規定が私法関係においても直接適用され、私人間的にも直接効力を有すると解する直接適用説に立つと、私人間の行為が憲法によって規律されることとなるため、私的自治の原則の保護に資すると一般に解されている。
- エ. 男女で異なる定年年齢を定める就業規則が、専ら性別のみを理由とした不合理な差別であると認められる場合には、民法等の私法における諸規定を適用して解決するまでもなく、当該就業規則は憲法第14条第1項に違反するため、当然に違憲であるとするのが判例である。
- オ. 憲法に規定されている「公共の福祉」の意味について、「公共の福祉」は、人権の外にあり、人権を制約することのできる一般的な原理であると解する説に立つと、「公共の福祉」による制約が許されるのは、条文中に「公共の福祉」による制約を受けることが明記されている経済的自由権と社会権に限られることになる。

1. イ
2. ア、オ
3. イ、ウ
4. ウ、エ
5. ア、エ、オ

2019年（令和元年度）
財務専門官 専門試験の出題例

【行政法】

行政不服審査法に関するア～オの記述のうち、妥当なもののみをすべて挙げているのはどれか。

- ア. 審査請求をすることができる「処分」には、条例に基づく処分も含まれる。
- イ. 処分庁の上級行政庁又は処分庁である審査庁は、必要があると認める場合には、審査請求人の申立てにより執行停止をすることができるが、審査請求人の申立てを待たずに当該審査庁の職権で執行停止をすることはできない。
- ウ. 審査請求人又は参加人の申立てがあった場合には、審理員は、原則として、当該申立てをした者に口頭で審査請求に関わる事件に関する意見を述べる機会を与えなければならない。
- エ. 行政庁の処分又は不作為につき、処分庁又は不作為庁以外の行政庁に対して審査請求をすることができる場合においても、当該処分又は不作為に不服のある者は、処分庁又は不作為庁に対して再審査の請求をすることができる。
- オ. 再審査請求に理由がない場合には、当該再審査請求は棄却される。また、審査請求を却下し、又は棄却した原裁決が違法又は不当である場合において、当該審査請求に係る処分が違法又は不当のいずれでもないときは、再審査庁は原裁決を取り消さなければならない。

- 1. ア、イ
- 2. ア、ウ
- 3. イ、エ
- 4. ウ、オ
- 5. エ、オ

2019年（令和元年度）
財務専門官 専門試験の出題例

【経済学】

ある個人は労働によって得た所得の全てをX財の消費に充てており、その効用関数は以下のように示される。

$$u = x(15 - L)$$

ここで、 u は効用水準、 x ($x > 0$) はX財の消費量、 L ($0 < L < 15$) は労働供給量を表す。X財の価格は10であり、労働一単位当たりの賃金額は30とする。この個人が効用を最大化するときの労働供給量はいくらか。

1. 6.0
2. 7.0
3. 7.5
4. 8.0
5. 8.5

2019年（令和元年度）
財務専門官 専門試験の出題例

【財政学】

公債に関するA～Cの記述のうち、妥当なもののみをすべて挙げているのはどれか。

- A. J. M. ブキャナンらの新生党派は、公債負担を民間部門の利用可能な資源が減少するかどうかという観点で捉え、公債発行と租税徴収は、一国の利用可能な資源が公的に使用されるかという点では同じであるし、また、内国債と外国債では将来世代の負担は異ならないと主張した。
- B. D. リカードは、政府支出を一定にしたままで、政府の財源調達を財から公債に変更しても家計の行動は変化せず、また、逆に財源調達を公債から税に変更しても家計の行動は変化しないとした。このような、政府の財源調達としては税も公債も同じである、という主張はリカードの等価定理と呼ばれる。
- C. ボーエン＝デービス＝コップは、公債の負担を、生涯消費の減少と捉え、公債の償還（増税）がどの世代で行われるかによって転科の有無が決定されると主張した。この考え方によると公債の発行と償還が異なる世代にまたがっている場合には、公債を償還する将来世代の生涯消費は増税によって減少するため、負担が将来世代に転嫁される。

1. A
2. B
3. A、B
4. A、C
5. B、C

2019年（令和元年度）
財務専門官 専門試験の出題例

【会計学】

家計の基礎に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 我が国の会計の基本概念の位置付けや利益測定的方式については、収益と費用を会計の中心概念として理解し、両社の差額をもって利益を測定する収益費用アプローチと、資産と負債を中心概念として理解し、両者の差額として導出される純資産額の期中変化文が利益であるとする資産負債アプローチという考え方がある。
2. 現金主義とは、利益と費用を、それぞれに関連する現金収入と現金支出の時点において認識し、その期間の損益計算書に計上する考え方である。これによると、現実主義や発生主義と異なり収益と費用が現金を媒介として同時に認識されるため、費用については現金主義が採用されている。
3. 損益計算書は、企業の財政状態を明らかにするために作成され、一会計期間に属する収益とこれに対応する全ての費用を記載して当期純利益を表示し、これに特別損益に属する項目を加減して経常利益を表示しなければならないとされている。
4. 単一性の原則とは、全ての費用及び収益は、その支出及び収入に基づいて計上し、その発生した期間に正しく割り当てられるように処理しなければならないという考え方である。また、前払費用及び前受収益は当期の損益計算書に計上しなければならないとされている。
5. 損益計算書の作成においては、費用及び収益は、純額によって記載することを原則とし、費用の項目と収益の項目とを直接に相殺することによって、その全部又は一部を損益計算書から除去しなければならないとされている。

2019年（令和元年度）
財務専門官 専門試験の出題例

【経営学】

経営管理に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. D. マグレガーは、人間の欲求に基づいたX理論とY理論を提唱した。X理論では、人間は強制や命令がなければ仕事で十分な力を発揮しない存在であるとみなす一方で、Y理論では、人間は自己実現に向けて進んで仕事に取り組む存在であるとみなした。
2. E. メイヨーとF. J. レスリスバーガーらは、組織内の人間関係と作業能率について着目し、ホーソン実験を行った。彼らは、この実験を通して、非公式組織と作業能率の間には関係性はなく、専ら公式組織の形態により作業能率の水準は決定されるとした。
3. J. H. ファヨールは、伝統的管理論において、経営機能と管理機能について述べ、特に管理機能を重視した。さらに管理機能を一般的に「計画、命令、執行、統制」の四つの要素から成り立つとした。
4. P. R. ローレンスとJ. W. ローシュは、組織の分化と統合について分析した。その結果、組織が置かれている環境の不確実性が高いほど分化の程度は低く、逆に環境の不確実性が低いほど分化の程度は高くなり、より複雑な統合が必要となることが明らかにされた。
5. C. I. バーナードは、意思決定論において、利用し得る限りの代替案の中から最高の案を選び出す経営人としての人間観を否定し、制約された合理性しか発揮できない経済人としての人間観を提唱した。

2019年（令和元年度）
財務専門官 専門試験の出題例

【情報数学】

a 、 b を1以上5以下の整数とする。 x についての2次方程式 $x^2 + ax + b = 0$ が整数解をもつような組 (a, b) はいくつあるか。

1. 2組
2. 3組
3. 4組
4. 5組
5. 6組

2019年（令和元年度）
財務専門官 専門試験の出題例

【情報工学】

次の記述のうち、パスワードリスト攻撃に該当するものとして妥当なのはどれか。

1. 想定され得るパスワードとあらかじめ計算したハッシュ値との対のリストを作成し、入手したハッシュ値からパスワードを解析して、Web サイトへのログインを試行する。
2. 一般的な単語や人名からパスワードとして使われそうな文字列のリストを作成し、Web サイトへのログインを試行する。
3. あるWeb サイトで流出した利用者 ID とパスワードのリストを用いて、他のWeb サイトへのログインを試行する。
4. Web サイトで使われそうな利用者 ID を利用し、パスワードに全ての文字列の組合せを一つずつ用いて、Web サイトへのログインを試行する。
5. あるサーバに対する通信を盗聴し、入手した利用者 ID とパスワードをそのまま利用して、そのサーバへのログインを試行する。

2019年（令和元年度）
財務専門官 専門試験の出題例

【解答】

【憲法】：1

【行政法】：2

【経済学】：3

【財政学】：5

【会計学】：1

【経営学】：1

【情報数学】：4

【情報工学】：3

複製禁止